

新型コロナウイルス

●主な症状

発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症状、鼻汁、
味覚異常、嗅覚異常など

●感染しやすい期間：発症後5日間

(発症前2日前から発症後5日間程度までが最も感染力が強い)

●登園の目安：

※発症した後、翌日から5日を通過し、かつ症状が軽快した翌日から1
日を通過すること

※無症状感染の場合は、検体採取日を0日目として5日経過すること

※症状軽快とは：解熱剤を使用せずに解熱し、かつ呼吸器症状
(咳や息苦しさ等)が改善傾向にある状態。

※発熱で受診される場合は、こども園内で新型コロナウイルスが
発症していることを、医師にお伝えください。

【お願い】

- 登降園時に園内に入る際は手指のアルコール消毒を行ってください。
- 家庭内で感染症に罹患した方がいる場合には必ずこども園にお知らせ下さい。
また、新型コロナウイルスに罹患されている方の送迎はお控え下さい。

インフルエンザ

●主な症状

発熱、呼吸器症状(鼻汁、咳)、頭痛、関節痛、全身倦怠感 など

●感染しやすい期間：症状がある期間：3～7日間

(1～3日間の潜伏期間、発熱の24時間前から感染力が強くなります。)

●登園の目安：「解熱後、翌日から3日を通過している」かつ、

発症後5日が経過していること

※解熱後もウイルスを排出している為、咳やくしゃみが治るまで注意。

※上記以外はコロナウイルス同様の対応となります。

【登園目安早見表】

例	発症日	発症後5日間（登園停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後 1日目に 解熱した 場合		解熱 	1日目 	2日目 	3日目 		登園 OK! 		
発症後 2日目に 解熱した 場合			解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK! 		
発症後 3日目に 解熱した 場合				解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK! 	
発症後 4日目に 解熱した 場合					解熱 	1日目 	2日目 	3日目 	登園 OK! 

伝染性紅斑(りんご病)

●主な症状

軽い風邪症状のあと、頬が赤くなったり、
手足に網目状の紅斑が出現する

●潜伏期間：4～14日

●感染しやすい期間：発しん出現前の1週間

(発しんが出現した頃にはすでに感染力は消失しています)

●登園の目安：全身状態が良いこと

注意！

妊婦が感染すると、流産や胎児水腫などを起こすことがありますので、

妊娠中の方はご注意ください。



【ホームケア】

●かゆみができる場合があります。つめは短く切り、かゆみが強い場合は小児科、もしくは皮膚科を受診する事をおすすめします。

●発しんが消えてからも直射日光に当たったり、入浴したりすることで発しんが、再発する事もあるのでご注意ください。

感染症胃腸炎

(急性胃腸炎、ノロ・ロタ・アデノウイルスなど)

●主な症状：嘔吐・腹痛

下痢(水のような便、クリーム色ですっぱい臭いなど)

●潜伏期間：(ロタ)1～3日

(ノロ)12～48時間

●感染期間：症状のある間と、症状消失後1週間

●登園の目安：24時間以内に嘔吐がない

24時間以内に2回以上の下痢がない

普段の食事がとれること、医師による登園の許可

※下痢嘔吐の症状は診断によっては「感染症胃腸炎」「急性胃腸炎」

「ウイルス性胃腸炎」「ノロウイルス」「ロタウイルス」「お腹にくる風邪」

といわれる場合があります。

※嘔吐・便で汚れた衣類は、園内での感染拡大防止の為、洗わずそのまま

お返し致します。

【ホームケア】

ウイルスを原因とする胃腸炎に特効薬はありません。

お腹を休ませてあげることが大切です。

●下痢・嘔吐をしている場合は、子どもが欲しがっても食べるのは控えましょう。

特に嘔吐した直後は飲んだり食べたりすることで、再び吐き気がでたり、嘔吐してしまう事になります。

●脱水にならないよう気をつけましょう。

子どもの様子を見ながら、湯ざまし・麦茶などを少しずつ与えましょう。

一度に沢山与えてしまうと吐き気や嘔吐を誘発してしまいます。

●下痢・嘔吐がおさまったら、消化の良い物(おかゆ、煮込みうどん、野菜スープなど)を少量ずつ、

ゆっくり食べさせましょう。乳製品、おかし、脂肪分・香辛料・食物繊維の多い食事は控えましょう。

溶連菌感染症

●主な症状：

突然の発熱、のどの痛み、嘔吐、頭痛、

首のリンパ節のはれ、全身に小さな発疹、

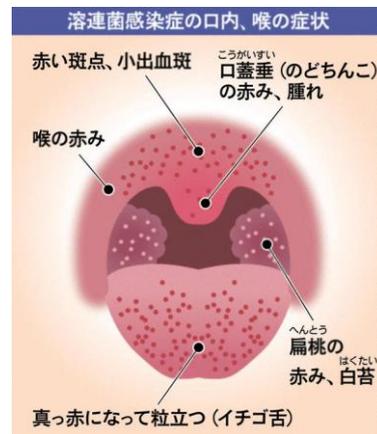
いちご舌（舌に赤いブツブツしたものができる）

●潜伏期間：2～5日

●感染期間：抗菌薬内服後、24時間が経過するまで

●登園の目安：

抗菌薬内服後、24～48時間経過していること



【ホームケア】

●症状がおさまっても、決められた期間処方された薬（抗菌薬）

を飲み続けましょう。

●咽頭痛のため食欲がなくなることがあります。

食事はやわらかく、刺激が少ないものにしましょう。

●感染症後数週間してから、リウマチ熱・急性糸球体腎炎を起こす

ことがあるので注意が必要です。

手足口病

- 主な症状：水疱性の発しんが口の中・手のひら・足の裏・おしりなどに現れる



- 潜伏期間：3～6日
- 感染しやすい期間：手足や口の中に水疱・潰瘍が発症した数日間
- 登園の目安：発熱や口の中の水疱・潰瘍の影響がなく、
普段の食事がとれること

【ホームケア】

- くしゃみや咳・便から感染することがあります
- 口の中の水疱は潰れると口内炎のように痛みがある為、刺激が少ないやわらかい食事にしましょう
- 便や結膜からもウイルスを排出しています。オムツの取り扱いに注意し、オムツを替えた後は石けんで手を洗いましょう(治療後も便の中にウイルスは30日程度排泄されます)